

スコアシート

配慮項目

環境配慮設計の概要記入欄

建物全体・共用部分

評価点

重み係数

住居・宿泊部分

評価点

重み係数

全体

Q 建築物の環境品質・性能

3.0

Q-1 室内環境

2.6

1 音環境

1.1 騒音

1 暗騒音レベル

2 設備騒音対策

1.2 遮音

1 開口部遮音性能

2 界壁遮音性能

3 界床遮音性能(軽量衝撃源)

4 界床遮音性能(重量衝撃源)

1.3 吸音

2 温熱環境

2.1 室温制御

1 室温設定

2 負荷変動・過渡制御性

3 外皮性能

4 ゾーン別制御性

5 温度・湿度制御

6 個別制御

7 時間外空調

8 監視システム

2.2 湿度制御

2.3 空調方式

3 光・視環境

3.1 昼光利用

1 昼光率

2 方位別開口

3 昼光利用設備

3.2 グレア対策

1 照明器具のグレア

2 昼光制御

3.3 照度

1 照度

2 照度均斉度

3.4 照明制御

4 空気質環境

4.1 発生源対策

1 化学物質汚染

2 アスベスト対策

3 ダニ・カビ等

4 レジオネラ対策

4.2 換気

1 換気量

2 自然換気性能

3 取り入れ外気への配慮

4 経気計画

4.3 運用管理

1 CO₂の監視

2 喫煙の制御

Q-2 サービス性能

3.7

1 機能性

1.1 機能性・使いやすさ

1 広さ・収納性

2 高度情報通信設備対応

3 バリアフリー計画

1.2 心理性・快適性

1 広さ感・景観

2 リフレッシュスペース

3 内装計画

2 耐用性・信頼性

2.1 耐震・免震

1 耐震性

2 免震・制振性能

2.2 部品・部材の耐用年数

1 外壁仕上げ材の補修必要間隔

2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

3 配管・配線材の更新必要間隔

4 主要設備機器の更新必要間隔

2.3 適切な更新

1 屋上(屋根)・外壁仕上げ材の更新

2 配管・配線材の更新

3 主要設備機器の更新

2.4 信頼性

1 空調・換気設備

2 給排水・衛生設備

3 電気設備

4 機械・配管支持方法

5 通信・情報設備

住戸の玄関扉幅≧850mm、廊下幅員≧1.2m

3 対応性・更新性			3.0	0.29	4.2	1.00	3.9
3.1 空間のゆとり	空間のゆとり		-	-	3.4	0.50	
	1	階高のゆとり	3.0	-	3.0	0.60	
	2	空間の形状・自由さ	3.0	-	4.0	0.40	
	3.2 荷重のゆとり		3.0	-	5.0	0.50	
	3.3 設備の更新性		3.0	1.00	-	-	
	1	空調配管の更新性	3.0	0.17	-	-	
	2	給排水管の更新性	3.0	0.17	-	-	
	3	電気配線の更新性	3.0	0.11	-	-	
	4	通信配線の更新性	3.0	0.11	-	-	
	5	設備機器の更新性	3.0	0.22	-	-	
	6	バックアップスペース	3.0	0.22	-	-	
Q-3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.8
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.0
LR-1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.5
1 建物の熱負荷抑制			3.0	0.40	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用			2.5	0.20	-	-	2.5
2.1 自然エネルギーの直接利用			2.0	0.50	-	-	
	2.2 自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		昇降機についてインバータによる速度制御を採用	4.7	0.40	-	-	4.7
4 効率的運用			-	-	-	-	-
4.1 モニタリング			3.0	-	-	-	
	4.2 運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR-2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.2
1 水資源保護			3.4	0.15	-	-	3.4
1.1 節水	節水型機器を採用		4.0	0.40	-	-	
			3.0	0.60	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水再利用			3.0	0.67	-	-	
	2 雑排水利用システム		3.0	0.33	-	-	
2 低環境負荷材			3.1	0.85	-	-	3.1
2.1 資源の再利用効率			3.0	0.35	-	-	
	1	躯体材料の再利用効率	4.0	0.67	-	-	
2	非構造材料の再利用効率		1.0	0.33	-	-	
			3.0	0.04	-	-	
2.2 持続可能な森林から産出された木材			5.0	0.08	-	-	
2.3 有害物質を含まない材料		塗料・接着剤等に有害物質を含まないものを採用	3.0	0.18	-	-	
2.4 既存建築躯体などの再利用			3.0	0.18	-	-	
2.5 部材の再利用可能性			3.0	0.18	-	-	
2.6 フロン・ハロンの回避			3.0	0.18	-	-	
1	消火剤		3.0	0.33	-	-	
	断熱材		3.0	0.33	-	-	
2	冷媒		3.0	0.33	-	-	
3			3.0	0.33	-	-	
LR-3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.1
1 大気汚染防止			3.0	0.10	-	-	3.0
2 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.10	-	-	3.0
2.1 騒音			3.0	0.33	-	-	
			3.0	0.33	-	-	
2.2 振動			3.0	0.33	-	-	
			3.0	0.33	-	-	
2.3 悪臭			3.0	0.33	-	-	
			3.0	0.33	-	-	
3 風害、日照阻害の抑制			1.6	0.15	-	-	1.6
3.1 風害の抑制			1.0	0.70	-	-	
			3.0	0.30	-	-	
3.2 日照阻害の抑制			3.0	0.10	-	-	3.0
4 光害の抑制			1.0	0.30	-	-	1.0
5 温熱環境悪化の改善			3.0	0.25	-	-	3.0
6 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	3.0
6.1 雨水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
			3.0	0.25	-	-	
6.2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
			3.0	0.25	-	-	
6.3 交通負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
			3.0	0.25	-	-	
6.4 廃棄物処理負荷			3.0	0.25	-	-	

■ LR-1 用途別点表		集合住宅	-	-	-	面積按分
		4358 m ²	-	-	-	総合スコア
1 建物の熱負荷抑制		等級未入力	-	-	-	-
3 設備システムの	ERRIによる評価	-	-	-	-	4.7
	個別設備による評価	4.7	-	-	-	
3.1	空調設備	-	-	-	-	-
3.2	換気設備	-	-	-	-	-
3.3	照明設備	5.0	-	-	-	-
3.4	給湯設備	-	-	-	-	-
3.5	昇降機設備	3.0	-	-	-	-